



古今狂歌集地

特別
~9
4511
2止



9
4511
2止

戲言夷歌集卷第四

秋歌上

秋のつらさめ

三つと巻のつらさ

こころをたへたつきお世帯に秋もなほとまよふの友へようとさつらん

千雀巻志けこ

うかひすゝもつらさきよしとさつらん秋の神風

お救巻やと

こころをたへたつきお世帯に秋もなほとまよふの友へようとさつらん

成安

秋の野を渡りてあまのほつらうとさつらん秋の神風



きつせき秋の袖のきん風ハかこむこなる折石もき

秋音人のもよまきうて海へんくさうよめ

こころのまけら

くみ秋のうら目あこハ空のかしうちなる月のまきう戸

送一らま

喜ら

秋のねもろうひそめてき秋友の三月をこのわんて

やや

人の目もらんえぬやよはしうて海へんくさうよめ 秋の袖風

千枝落ひさう

秋の枝よ男衆の目とも志のひまやこつうかよ秋の袖うせ

よやせの赤尾もつうとこの糸のよとと赤き秋の袖風

瓢箪の百あ

芋のよえいこわいこわいぬ方よさしものい風は秋の袖うせ

あぬの日乃およめ

あかきいのもついハセ海へんくさうよめこころけち細

海を渡るかえん

かこよやな小神のほろよ三彦星ハ川にえむの終一具を

いせのいも思ひと減娘もしまてこよひをがあま

月とよみえ

海客を懐かしく

波もあやしくとらふ 波とゆふをこほりせ 波と入る 秋の月
まらしきとらふ まらしき 舟の 帰れども 舟の ぬれ 秋の 月

いづれ

とらふ まらしきとらふ まらしき 舟の 帰れども 舟の ぬれ 秋の 月

ほのり

秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ

秋の月とよみえ

いづれ

秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ

日と夜とあきら

月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ

秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ

秋の月とよみえ

いづれ

秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ

秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ

秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ

文彦人 上野国七田市住

秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ

秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ

秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ 秋の月とよみえ

しんちん

あまのこゝろもあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりて

歌——うらさ

浅波を海かきうら

あまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりて

満中庵えり

あまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりて

山——

あまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりて

や——

あまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりて

人のこゝろを秋とせしむるはあまのこゝろのまじりて

あまのこゝろ

あまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりて

あまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりて

あまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりて

あまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりて

あまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりて

えり

あまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりて

あまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりてあまのこゝろのまじりて

あまのこゝろ

秋風のきこゆるはるる

こゝろのありしやも思はぬ

あはれみのこゝろも

子の福ぬる秋の逢へたるも

志けし

秋石のけつふ楊枝の志ありし

こゝろえ

こゝろの福ぬる秋の逢へたるも

盛言夷歌集卷第五

秋歌下

つらつら秋の秋合のこゝろ

おにこもるあまのこゝろも

志も

おもむく秋の風のそとけ

志けし

いさよひのこゝろも

秋のこゝろも

便 館湖鯉鮒

くさくさまらさうしつきのととてよめ。

まろくのうらまゝさうさうのうらまゝのうらまゝ。

うらまゝ

白くのととてええつらんあうさもりさぬ時への秋事

歌一ちす

仙をさほしあつていふ秋もいふ思ひ海に波のうら

秋のうらまゝさうさうのうらまゝのうらまゝ。

かひ人

あつてまらさうさうのうらまゝのうらまゝ。

成やす

弥田姫衣のまらさうさうのうらまゝのうらまゝ。

うらまゝ

ちつてまらさうさうのうらまゝのうらまゝ。

うらまゝ

小田の稲さうさうのうらまゝのうらまゝ。

古今奇歌真成

折まらさうの門田の畔さうさうのうらまゝのうらまゝ。

まらさう

タチのうらまゝのうらまゝのうらまゝ。

うらまゝのうらまゝのうらまゝ。

()

あはれに秋の風をしのぎて
き月のこころをしのぎて

いそごと

本まことの役もあはれに
あ月のこころをしのぎて

ほーのり

秋もさかすまの
あはれに

あはれに

戯言夷歌集巻第六
冬歌

歌一しん

千柳菴 ちやうあん

秋のまらしての
あはれに
あはれに
あはれに
あはれに

久々坊川友

あはれに

1500のまゝ

むらさきも新もまじりてはほろけりけりあまのたのそ

千枚巻

紙をもちて巻くはあはれやあはれやあはれやあはれや

連筆巻春本

通てふ池もつらきものにて其色はなほ氷をあらり

土のこの池の底もあはれ

紙ももつらき池のまは氷波のまはりてあはれ

堪忍舎二字守

新もつらき一層まかりてや峰をあらりて出づ池のあま

浅春巻也

あま川まのの川まのの川まのの川まのの川まのの川

浅雪庵守豊

あま川まのの川まのの川まのの川まのの川まのの川

竹葉ありや

折ふてあまもあまのあまのあまのあまのあまのあま

千紫堂居折

あま川まのの川まのの川まのの川まのの川まのの川

やじり

あま川まのの川まのの川まのの川まのの川まのの川

浅花唐加ん

花唐加んやんやん輝きやんやん

そのしんやんをのしん 市人

まらまら鮑見まらまら伊豆のちまらまら

ちまらまらまら 三藏樓田鶴丸

まらまらまらまらまらまらまらまらまら

末廣菴長清

まらまらまらまらまらまらまらまらまら

まらまらまらまらまらまらまらまら

まらまら

花唐加んやんやん輝きやんやん

花唐加んやんやん輝きやんやん

花唐加んやんやん輝きやんやん

浅林菴如羊 哉中国富山注

花唐加んやんやん輝きやんやん

舟中のらららららららららららららら

花の屋道頼

花唐加んやんやん輝きやんやん

花街のまらまらまらまらまらまら

狂歌房宋人

山道のふもとに咲く花の香りに
春の風をよもぎ

あさき

山道のふもとに咲く花の香りに
春の風をよもぎ

あさき

あさき

山道のふもとに咲く花の香りに
春の風をよもぎ

東山堂 教良

山道のふもとに咲く花の香りに
春の風をよもぎ

山道のふもとに咲く花の香りに
春の風をよもぎ

あさき

山道のふもとに咲く花の香りに
春の風をよもぎ

あさき

正学坊 明風

山道のふもとに咲く花の香りに
春の風をよもぎ

あさき

山道のふもとに咲く花の香りに
春の風をよもぎ

あさき

浅波菴 山崎

山道のふもとに咲く花の香りに
春の風をよもぎ

浅葉菴音芳

法王鶴鳥の多きことよむるよみはをきと祢んを説文

野辺亭廣道

鶴の子のうさもも松よ葉とくを代りてはきぬ天の代

千西菴端朱

くまのこゝろをたふさふは川は教のよ子の池をのこる

歌合のし

千種菴霜解

あはせのこゝろをよもみの池人よこつて三つを松のうらな

浅草菴市人

あはせのこゝろをよもみの池人よこつて三つを松のうらな

茶楊菴干則

あはせのこゝろをよもみの池人よこつて三つを松のうらな

柏葉亭栄

あはせのこゝろをよもみの池人よこつて三つを松のうらな

あはせのこゝろをよもみの池人よこつて三つを松のうらな

市人

あはせのこゝろをよもみの池人よこつて三つを松のうらな

霜解

あはせのこゝろをよもみの池人よこつて三つを松のうらな

あはせのこゝろをよもみの池人よこつて三つを松のうらな

あはれなる旅の友の旅の友
あはれなる旅の友の旅の友

福徳門

下宿の友の旅の友の友
あはれなる旅の友の友

夜雨亭松根

別れの友の旅の友の友
あはれなる旅の友の友

光

あはれなる旅の友の友
あはれなる旅の友の友

送ま

田辻門守

あはれなる旅の友の友
あはれなる旅の友の友

瓢亭百株

あはれなる旅の友の友
あはれなる旅の友の友

浅波菴河鳥

あはれなる旅の友の友
あはれなる旅の友の友

浅草菴市人

あはれなる旅の友の友

海今更に波の音もさかしくも今更にこの音をまじりて

栄揚菴干則

人の心もさかしくもさかしくもさかしくもさかしくもさかしくも

柏葉亭栄

矢藤

旅の音もさかしくもさかしくもさかしくもさかしくもさかしくも

千柳菴久門

旅の音もさかしくもさかしくもさかしくもさかしくもさかしくも

浅春菴安良

旅の音もさかしくもさかしくもさかしくもさかしくもさかしくも

桃花亭路蝶

旅の音もさかしくもさかしくもさかしくもさかしくもさかしくも

小金田丸

旅の音もさかしくもさかしくもさかしくもさかしくもさかしくも

千雀菴繁見

旅の音もさかしくもさかしくもさかしくもさかしくもさかしくも

浅波菴河鳥

いづよも世帯をいしつゝのりもあはれいづこは旅縁とせん
この國はまづりたる四もむさうのくまゝいづこは
いづよもいづよもいづよもいづよもいづよもいづよも

浅草菴市人

いづよもいづよもいづよもいづよもいづよもいづよも
いづよもいづよもいづよもいづよもいづよもいづよも

松梅亭金朱

いづよもいづよもいづよもいづよもいづよもいづよも
いづよもいづよもいづよもいづよもいづよもいづよも

竹葉成安

いづよもいづよもいづよもいづよもいづよもいづよも
いづよもいづよもいづよもいづよもいづよもいづよも

卷本坂守

いづよもいづよもいづよもいづよもいづよもいづよも
いづよもいづよもいづよもいづよもいづよもいづよも

千束菴民人

いづよもいづよもいづよもいづよもいづよもいづよも
いづよもいづよもいづよもいづよもいづよもいづよも

千雀菴鷺見

いづよもいづよもいづよもいづよもいづよもいづよも
いづよもいづよもいづよもいづよもいづよもいづよも

生壁窓藏人

いづよもいづよもいづよもいづよもいづよもいづよも
いづよもいづよもいづよもいづよもいづよもいづよも

（大）

めくろくろくあひおもしつゝあま車ひつゝあつらけつゝのそ
あまのめくろくろくあひおもしつゝあま車ひつゝあつらけつゝのそ

旅はうらうらうとそらり空を口よりそきえぬおの神流終
とほかこつらそらるるももむの夜とつゝあつらけつゝのそ

蕨一らよ 采安直 陸奥仙臺住

旅の友まつたふとさあふらぬの望とまうとどあのをそむの西
桐油菴 雨守

あつらけつゝあひおもしつゝあま車ひつゝあつらけつゝのそ
小金田丸

あつらけつゝあひおもしつゝあま車ひつゝあつらけつゝのそ

愛樹園拾明

旅はあつらけつゝあひおもしつゝあま車ひつゝあつらけつゝのそ

秋の屋色良

山さかひのりともあつらけつゝあひおもしつゝあま車ひつゝあつらけつゝのそ

民人

秋の屋色良

あつらけつゝあひおもしつゝあま車ひつゝあつらけつゝのそ

月の屋満丸 下総国千住住

あつらけつゝあひおもしつゝあま車ひつゝあつらけつゝのそ

温古亭文通

（大）

人...
しんせ

紀養

人...
いんせ

柏葉亭ノ栄

人...
いんせ

浅州菴ノ市人

人...
いんせ

千教菴ノ藤

人...
いんせ

Genji

人...
いんせ

鶴友呼

人...
いんせ

人...
いんせ

賢長人

人...
いんせ

梅雪翁

人...
いんせ

栄

人...
いんせ

卯 ちうめ くらゝ 梅枝堂為安

あまのついでにちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめ

かや川 千種菴霜解

かや川のちうめはちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめ

よめい 米山積

ト戸上名何ぞせむもかりもあう解くらえう海くらえうらん

あまのついでにちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめ

矢藤

後のあまのついでにちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめ

くらゝのちうめ 千柳菴又門

本心はちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめ

百和香 ころえ

あまのついでにちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめ

あまのついでにちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめ

秋毫堂高隨

あまのついでにちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめはちうめをみるのちうめ

ほろ解 秋毫堂 東楊菴干則

桃の湯碑はちうめも西玉母くあちうめもあちうめもあちうめもあちうめもあちうめもあちうめ

うー ちうめ 子卯 己さう 酉さう 亥

ちうめ 卯 市人

三つほむらひまゝのいづれもはなれぬものも
 其のぬれぬ物ありて人ももまをらひの社のほむら
 びのまゝのいづれもはなれぬものも
 三つあゝた物師のいひぬれぬ物見良乾離震坤と
 いふ卦のまゝといふまゝの霜解
 如くはのまゝのいづれもはなれぬものも
 三つあゝた物師のいひぬれぬ物見良乾離震坤と
 いふ卦のまゝといふまゝの霜解
 如くはのまゝのいづれもはなれぬものも
 三つあゝた物師のいひぬれぬ物見良乾離震坤と
 いふ卦のまゝといふまゝの霜解

戲言夷歌集 下卷

一名古今狂歌集

恋哀傷雜と解ふ之部
 近々彫刻出来仕仕

文化六己巳歳春

東都

柏葉亭丁藏

馬喰町三丁目

若林清兵衛

浅州藤坊町

山中要助

江戸書肆

